



## FLIR製品は、ベルギー、ベーフェレンの消防署で、ホットスポットや

行方不明者をより簡単に特定するのに役立っています

ベルギー、ベーフェレンの消防士は、手頃な価格で軽量かつ使いやすいFLIR K50赤外線カメラを高く評価しています。

消防士にとって、適切な消火機材を持っていることは非常に重要です。というのも、人命救助と同時に自分が生き残ることに関係してくるからです。ベルギー、ベーフェレンの消防署は、最近、消防士の安全を確保しながらよりよい消火活動をするために、FLIR K50赤外線カメラに投資をしました。

ベーフェレンは、ベルギーの東フランダース州にあり、アントワープ市に近い都市です。ベーフェレンのヘルデ川の左岸には、ワースランド港(オランダ語でWaaslandhaven)があり、対岸にはアントワープ市があります。

ベーフェレンからワースランドにわたる地域の消防署は、ベーフェレン近郊の数多くの地方自治体や、化学物質や有毒物質を製造したり使用したりする、危険性の高い企業が多く立地するワースランド港の火災安全を担当しています。ベーフェレン消防チームには、専門の消防隊員40名と消防士が3名、ボランティアの消防隊員が50名以上います。

ベーフェレンの消防署は、特にワースランド

港の危険性の高いエリアを担当しているのので、チームを支えるため、常に高度な技術を見分ける目をもっています。ですから同消防署は、既に長年にわたり赤外線カメラを使っているのです。特種なカメラシステムとして、消防車の上に据え付けることのできる可視カメラやFLIR製赤外線カメラが搭載されたPTZカメラシステムなどがあります。

「我々はこのシステムをかれこれ2、3年使用していますが、いつも力強いもう1人別の隊員を連れているかのようです。」と語るのは、ベーフェレンのチームの消防副士長であるStefaan Terryyn氏です。「PTZシステムを使用して、現場で発生する可能性のあるホットスポットの状況を監視し、ビデオ画像をワ

軽量のFLIR K50は、細部にわたり鮮明な、解像度320×240ピクセルの画像を映し出します。



FLIR K50があれば、コンテナ内のあらゆる種類の化学反応による温度変化を見ることができ、ワースランド港には多くの化学産業の会社が立地しているため、ベーフェレンの消防署にとっては非常に便利なものです。

イヤレスで危機管理室へ送ることができま。こうしてこのカメラシステムは、

地元当局が離れたところから現場の状況を見極め、必要な時に適切な対策を講じるのに役立っています。」

### ハンディタイプ赤外線カメラ(TIC)

PTZシステムは主に消防車の上に据え付けて使われますが、ベーフェレンの消防車はFLIR社のハンディタイプの赤外線画像技術も使用するため、2013年に消火活動用に



FLIR K50オートフォーカスカメラを購入しました。

「このカメラは、幅広い用途に有益です。」と、消防副士長であるStefaan Terryn氏は語ります。「例えば、煙突の火災では、FLIR K50で吊天井にあるホットスポットを検知す

ることができます。また同製品を使用して、コンテナ内のあらゆる種類の化学反応による温度変化を見ることができますが、ワース

ランド港には多くの化学産業の会社が立地しているため、非常に重宝しています。赤外線カメラは、通常、時間を追って撮影されるので、

温度が低下しているのか再度上昇中なのかという火災の発生の方角を見ることができるのです。」

消防チームは緊急の通報を受けると、通常、現行の消防車両、はしご車、水槽付消防車の3台の車両を使用します。赤外線カメラは、消防車両に据え付けられ、大抵の場合、消火活動を再検討するために使用されます。つまり、全ての作業が終了し、火災が全て効率的に鎮火したかどうかをみるということです。

もう一つの赤外線カメラの用途に、行方不明者の捜索があります。このためにFLIR K50には専用のカラーパレット(捜索救助モード)があり、消防隊員がより簡単に人を特定するのに役立っています。

「このカメラがあると、特定のエリアに進入しなくても危険な状況を見ることができます。」と語るのは消防副仕長のStefaan Terryn氏です。「最近、ワースランド港内の船のエンジンルームを消火しなければなりませんでした。これは赤外線画像が不可欠な状況の良い例です。火災が発生しているエンジンルームに立ち入ることは非常に危険です。離れたところから、状況を赤外線画像で見ることができるのです。」

## 手頃な価格で軽量な赤外線カメラ

「FLIR K50を購入する前は、複数の赤外線カメラのモデルを検討していましたが、FLIR K50は、価格と品質の比率という意味で最も興味深いモデルでした。」と消防副仕長のStefaan Terryn氏は語っています。「以前使用していたハンディタイプのTICとは異なり、FLIR K50は非常に軽量で、扱いやすいカメラです。我々は重い防火服、酸素ボンベ、高圧機器などを既に身につけていますので、これ以上の装備は軽量のものでなければなりません。K50は、オートフォーカスモデルですので、スクリーンが傾斜している他のハンディタイプカメラとは異なり、非常に使いやすくなっています。」

## FLIR K-シリーズ

FLIR Kシリーズの赤外線カメラは、最も要求の厳しい消火活動の任務のために特別に開発されました。メンテナンスフリーの非冷却型のマイクロボロメーター検出素子で、解像度240×180ピクセル(FLIR K40)もしくは320×240ピクセル(FLIR K50)の、細部にわたり鮮明な画像を映し出します。赤外線画像が大型で明るい4インチディスプレイに映し出されるので、消防士たちが障害物を避けて進み迅速かつ正確な判断を下すのに役立っています。Kシリーズは、厳しい操作条件を満たすよう設計されています。2メートルの高さからコンクリート上に落下しても壊れず、防水性能(IP67に適合)があり、動作温度が+85°Cまであります。

5つの画像オプションがありますので、赤外線の感度や有効な温度範囲モードを変更し、救助方針の決定や生存者の捜索を素早く実行できます。

- **TI基本モード:**火災の現場や消火活動の初期評価に
- **グレースケールモード:**TI基本モードに似ているが色彩がないもの
- **火災モード:**高温の現場向けに感度が改善されている
- **捜索救助モード:**人の特定をサポートするために最適化されたパレット
- **熱検出モード:**分解点検をサポートするためだけに最も高温のホットスポットが着色される



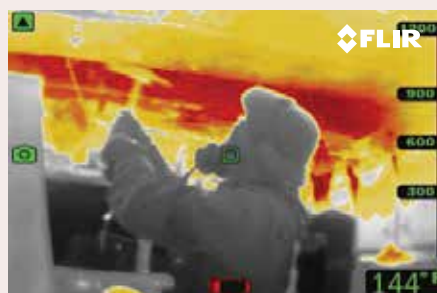
TI基本モード



捜索救助モード



熱検出モード



火災モード



グレースケールモード



ペーフェレンの消防署は、火災の状況を監視するため、可視カメラおよびFLIR赤外線カメラが搭載されたPTZシステムを使用

赤外線カメラに関する情報は弊社までお気軽にお問い合わせください。:

フリアーシステムズジャパン株式会社  
〒141-0021  
東京都品川区上大崎2-13-17  
目黒東急ビル5F  
電話:03-6721-6648  
FAX:03-6721-7946  
Eメール:info@flir.jp www.flir.com

掲載画像は実際のカメラの解像度と異なる場合があります。画像は説明目的で使用されています。